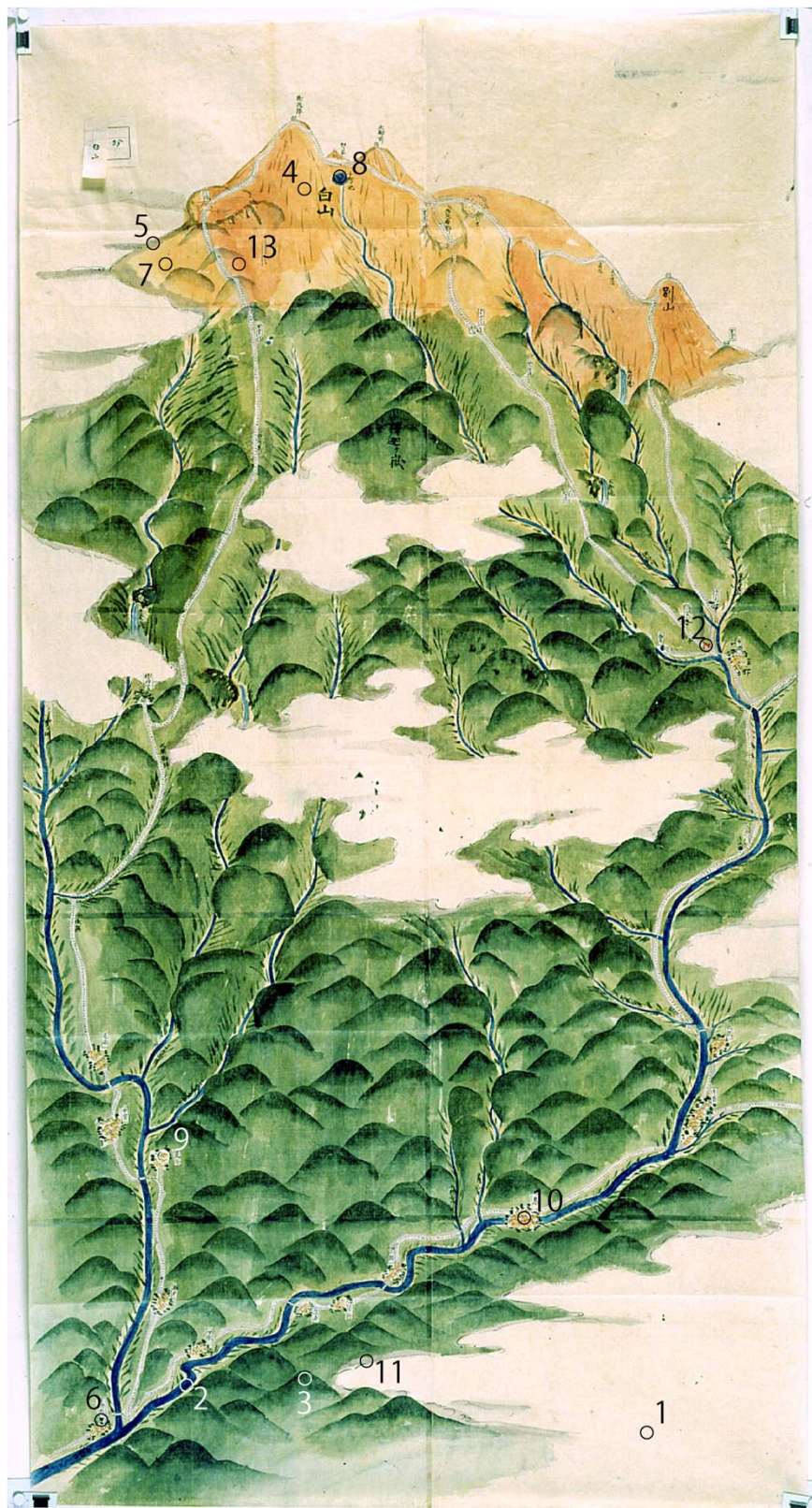


C172(白山之絵図)



絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年	所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイントNo.	1	モチーフ	地色	色		紙地	推定色料名		色なし			
絵図調査日	2010/11/30			DICH		未調査	肉眼で紙地、100倍顕微鏡の観察で紙地を確認。蛍光X線分析は無反応を示したことから、色なしと推定した。					
絵図(部分)		×100(ピーク)		×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル		蛍光X線スペクトル		
		2010/11/30測定		未調査		未調査		2010/11/30測定		2010/11/30測定		
主成分: 検出せず												
メモ												
絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年	所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイントNo.	2	モチーフ	川	色		青色	推定色料名		藍+胡粉か			
絵図調査日	2010/11/30			DICH		未調査	肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色、白色を確認。蛍光X線分析は無反応に近く、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。					
絵図(部分)		×100(ピーク)		×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル		蛍光X線スペクトル		
		2010/11/30測定		未調査		未調査		2010/11/30測定		2010/11/30測定		
主成分: 検出せず												
メモ												
絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年	所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイントNo.	3	モチーフ	山	色		緑色	推定色料名		藍+藤黄か			
絵図調査日	2010/11/30			DICH		未調査	肉眼で緑色、100倍顕微鏡の観察では、透明感のある青色と極薄い黄色を確認。蛍光X線分析は無反応、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。					
絵図(部分)		×100(ピーク)		×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル		蛍光X線スペクトル		
		2010/11/30測定		未調査		未調査		2010/11/30測定		2010/11/30測定		
主成分: 検出せず												
メモ												

絵図名	C172	白山之絵図	作成年代	1822	年	所蔵機関	射水市新湊博物館
ポイントNo.	4	モチーフ	白山	色	薄橙色	推定色料名	朱+藤黄か
絵図調査日	2010/11/30			DICNo.	未調査		
肉眼で薄橙色を確認。蛍光X線分析は微量のHg元素が検出したことから、藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。							
絵図(部分)		×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル	
		画像なし	画像なし	画像なし		蛍光X線スペクトル	
		未調査	未調査	未調査		微量成分: Hg	
							2010/11/30測定
絵図名	C172	白山之絵図	作成年代	1822	年	所蔵機関	射水市新湊博物館
ポイントNo.	5	モチーフ	白山(茶)	色	茶色	推定色料名	不明
絵図調査日	2010/11/30			DICNo.	未調査		
肉眼で茶色を確認。蛍光X線分析は無反応。不明と推定した。							
絵図(部分)		×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル	
		画像なし	画像なし	画像なし		蛍光X線スペクトル	
		未調査	未調査	未調査		主成分: 検出せず	
							2010/11/30測定
絵図名	C172	白山之絵図	作成年代	1822	年	所蔵機関	射水市新湊博物館

<div>ポイント№</div>	<div>6</div>	<div>モチーフ</div>	<div>葉</div>	<div>色</div>	<div>深緑色</div>	<div>推定色料名</div>	<div>藍+藤黄か</div>
<div>会図調査日</div>	<div>2010/11/30</div>	<div></div>	<div></div>	<div>DICNo.</div>	<div>未調査</div>	<div>肉眼で深緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色と黄色を確認。蛍光X線分析は無反応、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。</div>	

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

可視反射スペクトル

蛍光X線スペクトル

主成分:検出せず

メモ

2010/11/30測定

未調査

2010/11/30測定

2010/11/30測定

C172

白山之絵図

作成年代

1822年

所蔵機関

射水市新湊博物館

7

モナーフ

山すそ

色

黄土色

推定色料名

朱+藤黄か

DICNo.

未調査

会図調査日

2010/11/30

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

赤外線写真(部分)

可視反射スペクトル

蛍光X線スペクトル

主成分:検出せず

MZ

絵図名

C172

白山之絵図

作成年代

1822年

所蔵機関

射水市新湊博物館

8

モナーフ

千蛇ヶ池

色

青色

推定色料名

藍+胡粉か

DICNo.

未調査

会図調査日

2010/11/30

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

赤外線写真(部分)

可視反射スペクトル

蛍光X線スペクトル

主成分:検出せず

MZ

絵図名

C172

白山之絵図

作成年代

1822年


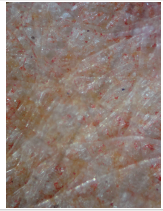
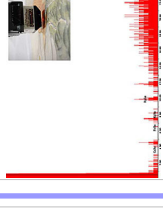
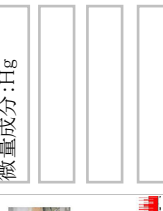

所蔵機関

射水市新湊博物館

絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年		所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイント№		10	モチーフ		家		色		薄赤色	推定色料名		朱+藤黄か	
絵図調査日		2010/11/30						DICH№		未調査		肉眼で薄赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認。蛍光X線分析は微量のHg元素が検出したことから、藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。	
絵図(部分)				×100(ピーク)				×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		画像なし	
						2010/11/30測定		未調査		画像なし		未調査	
×100(ピーク)				×175(キーエンス)		画像なし		可視反射スペクトル				蛍光X線スペクトル	
								2010/11/30測定		2010/11/30測定			
微量成分: Hg													
メモ													

絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年		所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイント№		11	モチーフ		霞		色		薄黒色	推定色料名		墨か	
絵図調査日		2010/11/30						DICH№		未調査		肉眼で薄黒色、100倍顕微鏡の観察で黒色を確認。蛍光X線分析は無反応を示していることから、墨と推定した。	
絵図(部分)				×100(ピーク)				×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		画像なし	
						2010/11/30測定		未調査		画像なし		未調査	
×100(ピーク)				×175(キーエンス)		画像なし		可視反射スペクトル				蛍光X線スペクトル	
								2010/11/30測定		2010/11/30測定			
主成分: 検出せず													
メモ													

絵図名		C172	白山之絵図		作成年代		1822	年		所蔵機関		射水市新湊博物館	
ポイント№		12	モチーフ		鳥居		色		赤色	推定色料名		朱(辰砂)か	
絵図調査日		2010/11/30						DICH№		未調査		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の特徴を示していることから、朱（辰砂）と推定した。	
絵図(部分)				×100(ピーク)				×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		画像なし	
						2010/11/30測定		未調査		画像なし		未調査	
×100(ピーク)				×175(キーエンス)		画像なし		可視反射スペクトル				蛍光X線スペクトル	
								2010/11/30測定		2010/11/30測定			
主成分: Hg													
メモ													

絵図名		C172		白山之絵図		作成年代		1822		年		所蔵機関		射水市新湊博物館					
ポイントNo.		13		モチーフ		別山		色		薄赤色		推定色料名		朱+藤黄か					
絵図調査日		2010/11/30						Dichro.		未調査		肉眼で薄赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認。蛍光X線分析は微量のHg元素が検出したことから、藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。							
絵図(部分)						×100(ピーク)		×175(キーエンス)		赤外線写真(部分)		可視反射スペクトル		蛍光X線スペクトル		メモ			
																			
						2010/11/30測定		未調査		未調査		未調査		2010/11/30測定					